

新たな計画を策定するために 振り返りと体制づくりを行いました

第6次長期総合計画を策定するにあたり、現在の第5次長期総合計画に掲げるまちづくりの施策を振り返り、次期計画に継承すべき課題などを検証しました。また、有識者の意見を求めるため審議会を組織し、検討が始まりました。12月号で紹介した「市民まちづくりワークショップ」も2月から動き出します。

今月は、施策の総括と策定体制を紹介します。

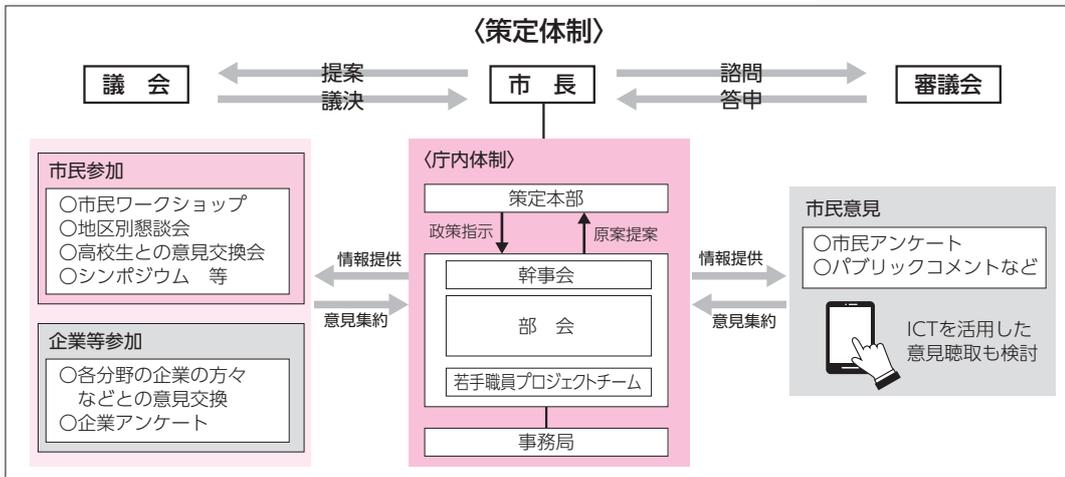
第5次長期総合計画に掲げる 施策の総括を実施

第5次長期総合計画では、3つの「まちづくりの目標」ごとに、施策の目標と具体的な取組方針を明らかにしています。それぞれの施策の現状を把握するため、分野別に代表的な指標を設定し、その実績の推移により目標の達成状況を確認しています。

代表的な指標による目標の達成状況(平成30年度末)

まちづくりの目標	指標数	達成見込みでより推進するもの	さらに努力が必要なもの	達成が厳しい状況にあるもの
安心して暮らせるまち	15	9 (60.0%)	3 (20.0%)	3 (20.0%)
海と歴史を活かすまち	16	8 (50.0%)	6 (37.5%)	2 (12.5%)
夢と誇りを創るまち	17	12 (70.6%)	5 (29.4%)	— (0.0%)
全体	48	29 (60.4%)	14 (29.2%)	5 (10.4%)

また、社会経済環境の変化を踏まえながら、施策を取り巻く課題や、今後のまちづくり施策の方向性の明確化を図っています。今後、市民の皆さんの意見を伺いながら次期計画につなげていきます。



第6次長期総合計画の策定体制は、左図のとおりです。

策定体制を確立し、さまざまな取り組みを開始

長期総合計画審議会

外部有識者で構成します。基本構想などに関する重要事項の調査審議を行います。

市民・企業などの参加

市民ワークショップ・地区別懇談会などを開催します。企業アンケートはすでに実施しており、今後、各分野で活躍されている企業の方などの意見交換を行っていきます。

市民意見

市民アンケートは実施済みですが、パブリックコメントなどの方法で、これからも多くの市民に意見を寄せていただきます。特に、若い世代の皆さんの意見を聞く方法として、ICT（メールやSNSなどの通信技術を使ったコミュニケーションのこと）の活用も検討しています。

市内体制

若手職員プロジェクトチームを設置します。本市が直面する課題を共有し、課題解決に向けて、斬新で柔軟な発想による施策提案などを行う横断的な組織で、計画策定や、まちづくりに主体的に携わります。

問 政策課企画係 ☎ 35515631